



12月定例会で一般質問に登壇(平成30年12月5日)

## 地域の願い、市民の声を市政に届ける

皆さまにはお健やかに新しい年をお迎えになられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年末に開催された12月定例会では、一般質問に登壇する機会をいただき、市の施策に対しまさざまな提言・要望をさせていただきました。本紙ではその内容（概要）を掲載しご報告とさせていただきます。

本年も地元・桜区発展のため、さまざまな課題に全力で取り組んで参ります。皆さまのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



### 次の世代に繋げる「桜区」のまちづくり

#### ① 国道463号(埼大通り)の歩道等の整備について

**Q 土橋** 去年の一般質問でも質問したところ、市からは「調査をしていきます」という答弁だった。

その後、台風の影響でケヤキが何本も折れるという事態が発生している。たまたま運が良く人的被害がないだけで、いつ被害が起きてもおかしくない状況だと思う。一刻も早い対応が必要だが、まず調査の進捗状況を伺いたい。

**A 建設局長** 平成27年度に北浦和駅入り口交差点から新大宮バイパスまでの区間と、埼玉大学付近の一部区間のケヤキ300本を対象に街路樹診断を行い、特に健全性が低いと診断された28本と、パトロールなどで倒木の危険があると判断した5本、合わせて33本を伐採した。今年度は新大宮バイパスから羽倉橋東交差点までの区間で、診断の行われていないケヤキ217本の街路樹診断と、根

上がりによる歩道の支障箇所を把握する現況調査を行っている。現在までに歩道の修繕が必要な箇所が23



箇所確認されている。

**Q 土橋** いつ大きな事故が起こるかも分からない。スピード感をもって対応していただきたい。また車いすの方は歩道が使えないという状況もあり、抜本的な対策をしていただきたい。

埼大通りは桜区の街づくりを考える上で重要な道路だと考える。日本一のケヤキ並木だからこそ、日本一景観の良いかつ安全な並木にする整備が必要だと思う。実験的にケヤキの植えかえ等も必要があるのでないか、ぜひ前向きに検討していただきたい。

また幹線道路として、道場三室線や大谷場高木線の整備、それと合わせて下大保交差点の改良も着実に

■1ページから続く

進め、渋滞解消も図っていただきたい。そして、最終的には埼大通りの車道・歩道の拡幅やバス専用レーンの可能性も検討するべきだと思う。電線の地中化による景観アップなど、総合的かつ抜本的な整備が必要だと思う。市の見解を伺いたい。

**A 建設局長** 現在、道場三室線、今年度末に開通予定の大谷場高木線、下大久保交差点の改良などの事業を進めている。

これらの事業が完成すれば、国道463号の渋滞も緩和され、議員から提案のあった歩道の拡幅、ケヤキの植えかえ、電線の地中化などを含めて道路幅員の構成の見直しができるものと考えている。将来的な課題として、今後も検討を進めていきたい。



## 2 埼玉県衛生研究所の跡地について

**Q 土橋** 埼玉県衛生研究所の跡地について、県から照会が来たと聞いている。また地元自治会が中心となってとりまとめられた、同地の公園整備に関する要望書も市長宛に出されている。地域の将来のことをしっかりとと考え、憩いの場、医療や福祉、教育、防災などさまざまな可能性を探していただきたい。現在、どのような検討を行っているのか、今後のスケジュールと合わせて伺いたい。

**A 財政局長** 現在、県から照会が来ている当該地は、大泉院通りに面し、北側はさいたま桜高等学園及び常磐高校、東側は公道をはさみ大規模店舗に囲まれた台形の土地

1万3,326m<sup>2</sup>になる。

今後は、庁内各部局での活用要望を調査しつつ、地域住民の要望を踏まえるとともに、周辺施設の老朽化の状況や用地取得にかかる財政負担など、さまざまな観点を踏まえて当該地の有効な活用方法を検討していく。

本市としての活用方法を決定後、速やかに県と調整を進めたいと考えている。

**■土橋** 地元から要望も出されており、桜区の中でも中心となる重要な土地だと思う。しっかり考えていただきたいと思うので、ぜひよろしくお願ひしたい。

## Q・A 災害を最小限に抑えるための取り組みについて

### 1 防災ガイドブックや各種ハザードマップについて

**Q 土橋** 市民の方に防災に対する知識や意識を持ってもらうには、防災ガイドブックやハザードマップのようなものが最も重要なツールだと考える。そこで、市にはたくさんの防災に関する広報物があるが、地震や水害などバラバラになっていて、数冊持っているだけでは完結しないようなものもある。残念ながら市民からは分かりにくいとか、見る気がしない、見たことがないと言う声も聞く。どんなに情報を出しても、見て・知って・活用してもらえないのは意味がない。

平成27年12月の一般質問で、東京防災を参考にしてはどうかと提言した。それから今日まで、さいたま市は何の動きもない間に、東京都は女性の視点からの防災冊子を発行している。本市でも分かりやすく、見やすく、読みやすい、一人でも多くの市民の方に保存・活用してもらえるような市民目線に立った防災ガイドブックやマップを作成するべきだと考えるが、見解を伺いたい。

**A 総務局長** 次回の防災ガイドブックの作成時には、新たに女性の視点からの防災や、防災行政無線メールや防災アプリなどの各種避難情報システム、市民の防災意識や知識の向上に必要な情報を適切に集約した防災ガイドブックとしていく。

**Q 土橋** ゼビ情報を精査していただき、まとまりのあるものを作っていただきたい。またマップが入りきらないという話も聞くが、マップをデータ化すればサイズは関係がな

くなる。情報発進力向上のために、ICTを取り入れる必要もあると思うが見解を伺いたい。

**A 総務局長** 議員ご指摘通り、ガイドブックへ多くのハザードマップを入れるのは難しく、こうしたものをデータ化して、QRコードで掲載することは、たいへん有効な手段だと考える。次回のガイドブックの改定の際に反映させてていきたい。



**Q**  
**A**

## 桜区と中央区を繋ぐ、新たな交通インフラ導入について

### 1 これまでの検討状況や課題について

**Q 土橋** 2年前の一般質問で、桜区と中央区を繋ぐコミュニティバスの導入について提案させていただいた。それから2年間、関係各所で協議を進めていただいているが、検討状況と課題について伺いたい。

**A 都市局長** 主な経過は、桜区大久保地区、中央区西与野地区においてルート案を作成していただき、また桜区やつしま地区、塙本地区において自治会のご協力のもとで、居住者の移動状況や移動に関する困りごとについてのアンケート調査を実施した。市は両地区で作成したルート案とアンケート調査結果をもとに、複数のルート接続案を作成し、11月下旬に開催された地域組織の打合せで提案させてい

ただいた。なお、狭い道を通ることや運行経費などを勘案し、現在は乗合タクシーの運行を目指して検討を進めている。



課題としては、ルート案の絞り込みや混雑時における定時制の確保等があげられるが、中央区と桜区それぞれの地域の方々が主体となりルートを検討するケースは初めてであり、地域組織の皆さまとの協働により、解決に向けた協議を進めたいと考える。

### 2 今後の取り組みやスケジュールについて

**Q 土橋** 11月の打合せで大枠として、ルートの方向性は決まったのではないかと認識している。後は収支率が課題となるが、これはさまざまな観点で検討いただきたいと思う。着実に、スピード感をもって進めさせていただきたいと思うが、今後のスケジュールについて伺いたい。

**A 都市局長** 今後は地域組織の皆さまにルートの微修正を行っていただいた後、警察や道路管理者、バス事業者等との協議を進める。地域組織の皆さまには自治連合会への報告、関係自治会や停留所設置の同意を得る作業などを

行っていただきたいと考えている。

市としては地域の活動をサポートするとともに、需要調査を実施し、収支率が30%以上となっていることを確認した上で、実証運行に向けた手続きを進める。なお、順調に進んで2020年春頃の運行を想定している。

**■土橋** 実証運行が2020年春ということで、2020東京オリンピック・パラリンピックに関連することができる。必ず実現できるように、中央区選出の井原議員とこれからも尽力していきたいと思う。よろしくお願いしたい。

**Q**  
**A**

## 公民館のエレベーター設置について

**Q 土橋** 昨年度、市の公民館のエレベーター未設置についての調査が終了した。当然、バリアフリーが当たり前の時代なので、全館に設置していただきたいところだが、やはり2階から公民館となるところは早急に対応していただきたいと思う。

平成25年に大久保自治連の会長、大久保公民館運営協議委員会の委員長、大久保地区社会福祉協議会の会長をはじめ2,000名を超える方が、大久保公民館へのエレベーター設置の要望書を提出している。それから5年が経過しているが、しっかりと受け止めて対応していただきたいと思うが、市の見解を伺いたい。

**A 副教育長** 公民館のエレベーター設置について調査した結果、16館について設置可能であるという結果が出ている。そのうち2階が入り口となっている3館について、優先的に検討してきた。今年度は南区の六辻公民館について、基本設計等を進めている。

**大久保公民館については平成31年度以降、エレベーターの設置に向け基本設計等の実施を検討していく。**

**■土橋** 今の課題にしっかりと向き合っていただき、解決策を講じていただき、さらに子どもたちやその次の世代に自信を持ってつなげられるような施策を今後も進めていただきたい。

### 一般質問全項目(市議会12月定例会／12月5日)

- |  |   |
|--|---|
| 1 次の世代に繋げる「桜区」のまちづくり<br>(1) 人口減少に対する考え方<br>(2) 国道463号（増大通り）の歩道等の整備について<br>①歩道や植栽の現状把握について<br>②今後の対応について<br>(3) 埼玉県衛生研究所の跡地について | 3 災害を最小限に抑える為の取り組みについて<br>(1) 市民の防災意識と知識について<br>(2) 防災ガイドブックや各種ハザードマップについて    |
| 2 新たな教育環境について<br>(1) コミュニティスクールを取り入れた学校の姿<br>(2) 学校と地域の連携及び相互理解について  | 4 桜区と中央区を繋ぐ、新たな交通インフラ導入について<br>(1) これまでの検討状況や課題について<br>(2) 今後の取り組みやスケジュールについて |
| 5 公民館について<br>(1) 館内の安全・防犯対策等について<br>(2) エレベーター設置について   |   |

\*一般質問の全文はさいたま市議会のホームページ(会議録検索システム)をご覧ください。[→https://www.city.saitama.jp/gikai/index.html](https://www.city.saitama.jp/gikai/index.html)

## 市民生活委員会 〇〇〇

### 議案外質問

#### Q&A 消防団の拡充強化について

**Q 土橋** 新たに消防団活躍推進室が設置されて1年8ヶ月あまり、どのような取り組みを行いつのどのような成果があつたのか伺いたい。また、女性の室長として、女性目線での取り組みなども取り入れられているのであれば伺いたい。

**A 消防局総務部長** 主な取り組みとしては、女性や若年層の入団促進を目的にポスターやリーフレットの作成見直し、またSNS等を活用した広報を展開してきた。その結果、昨年度は16名の女性が入団し現在74名、学生団員は10名が入団し17名にて活動を行っている。消防団協力事業所については新たに18事業所が加わり、現在32事業所を認定している。

女性の活躍を踏まえた取り組みとしては、議員ご指摘のように女性室長の目線から、女性団員を対象とした研修会を開催し意見交換を行っている。女性団員からは、教育訓練の機会を充実して欲しい等々の意見が出ている。

**Q 土橋** 女性の入団も増え、また学生団員も増えているということで、より一層の取り組みを行っていただきたいと思う。

そこで、新しい人を確保していくためには、ビジュアル的な部分も影響があるのではないかと思う。女性や若い人達にも目に留まるような取り組みを、例えば消防団員の作業着等のデザインについても考慮していく必要があるのでは?

**A 消防局総務部長** 議員ご指摘通り、今後の長いスパンで考えれば女性と、主に若年層を中心に、消防団員を確保していくかなければならぬ。

若い人たちにも好感が持てるような、そんな服装についても、今後、積極的に検討項目に入れていきたいと考える。



#### Q&A ゼロエミッショント公共交通インフラについて

**Q 土橋** 平成29年9月に報道発表されている、世界初となる電車の回生電力を電動バスに超急速充電する「ゼロエミッション地域公共交通インフラ」の開発実証事業について伺いたい。浦和美園駅とさいたま新都心駅の片道約11km区間を対象として、電車の回生電力を次世代蓄電池によって回収し、その電力をパンタグラフ接触式充電器により、電動バスに5分以内で超急速充電するといった、たいへん画期的なシステムだと認識している。現在の進捗状況について伺いたい。

**A 環境共生部長** 年内にはEVバスの改造が終了し、年明けには超急速充電システムが浦和美園駅西口に設置される予定。システム設置後は、システムの連携などに問題が無いことを確認した後、総合試運転を実施する。その後、EVバスへの充電時間や充電量、走行しての電力消費量など、営業運行を行うにあたって想定される課題について半年ほど検証した後、2019年秋頃には営業運行ペースでの実証運行が開始となる予定。技術開発代表者である民間事業者や関係機関と連携して、事業を推進していきたい。

**Q 土橋** 日本では初めての取り組みということで、市民の皆さんにしっかりと周知していただきたい。また、子供たちに、こういうものを見て触れてほしいと思う。ただ、先進的な技術というのは外見からは分かりづらい側面もある。EVバスの、外見上のデザインなどに工夫が必要だと思うが、どのように考えているのか伺いたい。

**A 環境共生部長** EVバスについては、その先進性を市民のみならず国内外にPRする有効な資源だと認識している。EVバスを市のシンボルにするために、一目見てEVバスと認識できるようなラッピングは有効な手段だと考えている。

具体的な検討は今後になるが、バス事業者や府内関係部局と協議を進め、市民に親しみやすく愛されるようなデザインとすることで、オリンピック・パラリンピックのレガシーとして運行できるように検討していきたい。



#### 皆さまにご迷惑をおかけしています

#### 国道463号「羽根倉橋」の交通規制にご協力ください

羽根倉橋を今後も安全に利用いただくため、状態の悪い床版を撤去し、新しい床版に取り替え、補強する工事を行っています。工事期間中は上り線を終日通行止め規制としていることから、大変混雑しています。ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

■規制・期間: 平成30年9月から平成32年5月(予定)まで、終日対面通行



さいたま市政への皆さまの声、ご意見・ご要望をお寄せください。

土橋勇司 政務活動事務所 〒338-0814 さいたま市桜区宿110-4

TEL: 048-854-7918 / FAX: 048-854-7786

E-mail: info@y-dobashi.sakura.ne.jp http://y-dobashi.jp/

~フェイスブックでも情報発信中!!~

